

農業委員会だより

第 91 号
令和4(2022)年
12月1日発行
〈編集・発行〉
大田原市農業委員会
大田原市本町1-4-1
TEL.0287-23-8716

E-mail/nougyou@city.ohatawara.tochigi.jp



農業委員、推進委員で市内全域の農地パトロールを実施

遊休農地の発生防止と解消、新たに遊休農地になったところがないか、違反転用がないかを調査し、意欲ある農業者への農地の集積を図る観点から、毎年実施しています。

2ページに委員の報告があります。

農地の無断転用は違反です!

農地に建物を建てたり太陽光発電設備を設けたり駐車場にするなど、農地を農地でないものにするを農地転用といいます。農地転用をするときには、農地法の許可が必要です。農地を農地以外のものにする前に、農業委員会へ相談してください。

こんな無断転用が起きていませんか?

一時的に利用する場合も許可が必要です

無断転用には厳しい罰則があります



8/30～9/2

農地パトロール実施

委員活動報告

市内の耕地面積は10,900㍊。そのうち遊休農地は19年13.4㍊、20年14.9㍊、21年15.7㍊と年々微増しています。

遊休農地は、病害虫の発生や野生鳥獣のすみかとなるなど、周辺農地や地域にも悪影響を及ぼします。そば畑に転換している遊休農地解消の取り組みも行っていますが、それ以上に遊休農地化している農地が多い状況です。今後、人・農地プランに基づき、地域で将来の農地の利用について話し合いを行い、農地の遊休化防止に取り組んでいきます。

農業委員 佐藤 孝 (美原)



佐久山地区は、農業委員2名、推進委員2名及び事務局2名の計6名で現地調査を行いました。

パトロールを行った筆数は53筆と多いのですが、農地が細かく分筆されているためです。それぞれ不耕作地となった時期に違いはありますが、いずれも人力や農業用機械で草刈、耕起などすることにより、すぐに農地に復元することができる状況でした。

遊休化した原因としては、農地の形状が悪かったり、水の確保が難しいなど地形的なものや、農家の高齢化・後継者不足といった担い手不足によるものでした。遊休農地の中には、近隣農家への相談や農地バンクへのあっせんなどの対策により改善されると考えられる農地もありました。

世界人口の増加と食料不足は切迫した課題であり、今まさに食料生産基盤を整備し、人・農地プランを進める必要があります。大切な農地を守っていくために、遊休農地となる前に農業委員や推進委員にご相談ください。



タブレットを使用しながら現地を確認

8/26 農業女子のつどいを初開催

チームあゆみホームページ→



農業委員会では「農業女子のつどい」を生涯学習センターで初めて開催。これは、農業に携わる女性の交流の場を設け、横のつながりを深めてもらおうと私たち女性農業委員4名で作るグループ「チームあゆみ」が初めて企画したもので、市内で農業に従事する30代から60代の女性12人と女性農業委員4名、視察研修として高根沢町女性農業委員1名が参加しました。

「農業における喜び、楽しみ、困りごと、悩み」をテーマにした意見交換では、「自分で育てた作物を美味しく食べてもらえる喜び」との意見に多くの共感があり、「肥料や機械が高い」



「農業女子のつどい」参加者集合写真（前列右端男性は荒井会長）



「後継者がいない」という悩みには「収入を増やすことで、すべての悩みの解決になる」との意見に、会場は盛り上がりを見せていました。

参加者からは「とても楽しく参加させていただいた」「色々な方と交流でき、横のつながりが持ててよかった。このような場が必要と改めて感じた」と好評でしたので、今後も継続していきたいと考えています。

また、「収入を増やす」との意見に対しては、農業に携わる女性が生き生きと活躍していけますように、来年2月に次の企画を考えておりますので、楽しみにしててください。（文：相馬 和恵）

推薦

大田原市農業委員会の委員 農地利用最適化推進委員

応募

届出受付期間 令和5年2月1日(水)～2月28日(火)

現在の大田原市農業委員会の委員、農地利用最適化推進委員は、令和5年7月19日に任期満了となりますので、次のとおり募集いたします。



① 農業委員

募集人数／17名

任用期間／令和5年7月20日～令和8年7月19日(3年間)

職務内容／農地の権利移動や転用に係る許認可業務、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の推進、法人化その他の農業経営の合理化、農業に関する調査及び情報提供、地区会議での進行役等

選考方法／提出された書類をもとに選考し、市長が議会の同意を得た上で任命します。

② 農地利用最適化推進委員

募集人数／43名(地区内に担当区域を設定)

大田原	金田	親園	野崎	佐久山	湯津上	黒羽	川西	両郷	須賀川
3名	8名	4名	2名	5名	6名	4名	3名	5名	3名

任用期間／令和5年7月20日～令和8年7月19日(3年間)

職務内容／担当区域内における担い手への農地の集積・集約化、遊休農地発生防止・解消、新規参入の促進及びそれに伴う現地での調査・指導、地区会議での進行役等

選考方法／提出された書類をもとに選考し、農業委員会が委嘱します。

③ 推薦・応募方法(1、2ともに同じ)

(1) 個人[3人]による推薦 (2) 団体による推薦 (3) 自ら応募 の3つの方法があります。それぞれの届出様式に必要事項をご記入の上、農業委員会事務局へご提出ください。様式は、農業委員会事務局・湯津上支所・黒羽支所の窓口に備えるほか、ホームページからもダウンロードできます。(http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/) ※1月中旬ごろから

推薦方法・報酬等詳しい内容は農業委員会事務局(23-8716)へお問い合わせください。

10/4

将来のライフプラン設計を考え 農業者年金加入を



栃木県農業会議主催の農業者年金の研修会に農業委員5名で参加しました。

全国農協青年組織協議会参与の柿島洋一氏による「農業者から見た農業者年金の魅力」の講演(写真)がありました。農業者自らが「結婚」「出産」「子育て」「規模拡大」「事業継承」「相続」という将来のライフプラン設計を考えていく中で、将来の自分自身の生活のために無理なく農業者年金を積み立てておくことは人生100年時代に重要との内容でした。

私自身、今後は農業経営から引退し、事業継承の時期を迎えます。夫婦で農業者年金制度に加入していたので、受給が始まるのがとても楽しみです。改めて加入していてよかったと感じます。自身のライフプランを考えながら、有利な農業者年金への加入をお勧めします。(文：秋本 則夫)

連載

よろしくお祈いします 第8回 高瀬 司さん(佐久山)

今回は大田原市佐久山にお住まいの「高瀬 司さん(28歳)」をご紹介します。

3年前の2月、高瀬家では、一人で農業経営していた父 隆至さんが大怪我で長期入院。その際に約15畝の農地をどうしていこうかと話し合い、就活中であった司さんが「自分がやるしかない!」と家業を継ぐことを決意されたそうです。

父親不在となるその年の田植えのため、トラクターの牽引免許や大型特殊免許を取得し、父親の友人に相談しながら、田植えの準備に取りかかりました。初めての田植えはそう簡単にはいかず、田は穴だらけ。田植えの難しさ、父親の偉大さを思い知らされたときを振り返られていました。

現在は、父親も復帰し母親も加わり、家族3人で約20畝の田に、主食用米、飼料用米、酒米を生産しています。また、



司さんは無人ヘリの免許も取得し、父親とともに農業散布を多数請け負っています。散布技術を高めるために、時間を見つけては操縦訓練に励んでいます。

今年5月には、昨秋収穫した酒米・山田錦100%で渡邊酒造(須佐木)が仕込んだ「旭興 大吟醸」が、岩手県の南部杜氏協会が主催する「第103回南部杜氏自醸清酒鑑評会・吟醸酒の部」で第1位に輝き、米の品質の良さも評価されました。

「父から米作りの技術を受け継ぎ、自分が中心となって作業できるように頑張っていきたい」と語る司さんの今後に期待しています。(聞き手:事務局)

両親からのメッセージ

米作りは機械化により、とても楽になりました。米作りに興味がある方、一緒に米作りしませんか? お嫁さん募集中です。



連載
産直
情報

「TOKO-TOKOマルシェ」

中央1-3-15
TOKO-TOKOおおたわら1F
☎47-4750



旬の採れたて野菜が所狭しと並ぶ野菜売り場

休業日/1月1日のみ
営業時間/9:00~20:00

TOKO-TOKO マルシェでは、県北地域の農家の方が心を込めて育てた野菜・お米・果物・切り花や手作りのお惣菜・パン・焼き菓子を販売しています。

また、化学調味料無添加や保存料を使用しないなどのこだわりを持って作られている調味料やお菓子を全国より取り寄せています。

12月からは、ブロッコリー・蓮根・大根・ねぎなど人気の冬野菜を販売します。また、年末お渡しの「切りもち」の予約もスタート。地元産の手土産も販売しておりますので、年末年始のお遣いものとしてぜひご利用ください! (文:農政課)

節税対策しながら 農業者年金で積立を!



- **支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象**で、支払われる年金にも公的年金等控除が適用されます。
 - 農業者の方なら広く加入できます。
 - 少子高齢時代に強い積立方式・確定拠出型の年金です。※後継者の有無にかかわらず、加入することができます。
 - 農業経営の状況に応じて、保険料を増額したり、一時停止することも可能です。
- 詳しくは、最寄りのJA窓口または
農業委員会事務局へお問い合わせください。

地産地消レシピ 紹介♪ 鶏手羽元でつくる 根菜のうま煮

これからの寒い季節に美味しさ増す根菜に、鶏手羽元のうま味がしっかりしみ込んだ栄養満点の一品です。

材料(4人分)

鶏手羽元…8本 長ねぎ…1/2本
しいたけ…2枚 里いも…3個
大根…150g ごぼう…100g
蓮根…100g にんじん100g
こんにゃく…1/2枚
水…300cc 麵つゆ…100cc
砂糖 大さじ2 サラダ油 大さじ1



作り方

- ①長ねぎは2~4cmのぶつ切りにする。しいたけは石づきを取り食べやすい大きさに切る。里いも、大根、ごぼう、蓮根、にんじんは皮をむき、乱切りにする。こんにゃくは食べやすい大きさにちぎり、熱湯でアク抜きます。
- ②フライパンを熱し、中火で手羽元の両面を焼き色がつくように焼く。
- ③鍋にサラダ油を入れ、ごぼう、蓮根、にんじん、こんにゃくを炒め、表面に火がとおったら、②と、しいたけ、里いも、大根を加え、さっと炒める。
- ④③に水、麵つゆ、砂糖を入れて中火にかけ、煮立ったら弱火にし、落としぶたをして約20分煮る。具材がやわらかくなったら、長ねぎを入れ、強火で約2分煮て完成♪ (文:屋代 幸子)

編集後記

爽りの秋。今年度の栃木県北部の水稲作況指数は残念ながら「やや不良」の「96」。しかし、美味しいものがいっぱい。食べ過ぎないように味わいたいものです。屋代委員のレシピ「うま煮」はご飯のおかずにご家庭で試してみてください。(編集委員長 助川 悦夫)

【農業委員会だより編集委員会】(農政班) 助川悦夫・阿見芳・笹沼保治・屋代幸子・秋本則夫・相馬和恵・高瀬隆至・越沼良